

前嶋信次 しんじつ 東洋史學者、文學博士。明治二十六年七月、二十白山
梨縣生れ、昭和五十八年八月、二百没（一九〇一—八三）。昭和二年東京帝國
大學文學部卒業。滿鐵（南滿洲鐵道株式会社）東亞經濟調査局調査員等
を経て、二十一年、慶應義塾大学教授。

著書『コアラビヤ民族史』（昭和十六年十一月、二十白山丸岡出版社）、『南
方亞細亞の文化』（合著・滿鐵東亞經濟調査局『新亞細亞』編輯部監
修、昭和十七年十一月、二十白山大和書店『新亞細亞叢書』）、『コタタニニ
藏』（昭和二十七年七月十日岩波書店『岩波新書』）、『サラセン文
化』（昭和二十年十月、二十白山弘文堂『アテネ文庫』）、『東洋と西
洋』（合著・谷川徹三編、昭和二十一年十一月、二十白山毎日新聞社『毎
日ライブラリー』）、『空海伝記』（陳舜臣解題、昭和五十八年十
一月、二十白山誠文堂新光社）、『日持上人の大陸渡航—宣化出土遺物
を中心として』（大澤雄解題、昭和五十八年十一月、二十白山誠文堂新
光社）等。

